

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	めぐみの園保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 22 年 3 月 1 2 日

総 評	<p>めぐみの園保育園は、開園以来30年以上「人間の限りない可能性を求め、そなわる器を育てよう」の保育理念のもと、地域の発展にあわせて大規模化を図りながら、事業の見直しと保育の資の向上の両立を目指しています。</p> <p>また、一人ひとりの子どもの持つ力を伸ばしたいという姿勢が、園長をはじめ、職員全員にいきわたっており、食育やスイミングといった取り組みに表れています。園の内外で交わされる挨拶の声や、子どもへの接し方など、非常に明るい雰囲気、「生き生きとした子どもをめざして」という保育目標を実践しています。</p> <p>多くの子どもを受け入れる事は、多くの人が園との関係を結ぶ事であり、多くの事を職員、利用者が双方向で学ぶことができます。園が備えている「問題を成長の糧として受け入れる柔軟な姿勢」を今後も継続し、さらなる保育の充実を期待します。</p>
特に良かった点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の自己評価は毎月行い、質の向上に向けた取り組みがなされています。 ・ 地域との交流を年間計画に取り入れたり、自治会の行事に参加したりする体制ができています。職員が近隣地域に出向いて苦情を含めた意見の聞き取りに柔軟に対応しており、総会の場であらためて保護者に説明をするなど、利用者や地域との関わりを大切にしています。 ・ 園外保育や幼児のスイミングスクール（週一回）に長年取り組み、子どもたちの心身の健康を育くむ実践をしています。食事の時間にも食材そのものに興味を持てるような取り組みを継続しており、クッキング保育と併せて食育の推進がなされています。
特に改善が 望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業経営は、市役所や関連団体との連携の中で管理者が把握しています。今後は、把握した情報を事業計画に反映されるとよいでしょう。 ・ 幼児は自由画、粘土、新聞紙遊び等自主的な遊びができるような環境が作られています。コーナー遊び等を取り入れる際は、子どもの動きや、適切な遊具の分量などについて、さらに検討されると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	B	A
		I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	B
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		B	A
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

・保育の理念や基本方針が明文化され、職員に周知しています。また、入園のしおりやホームページに掲載するなど利用者等にも周知しています。

・保育理念、方針、目標が記載されたパンフレットを作成し、地域住民、関係機関へ発信しています。

・関連団体と提携し、地域ニーズを把握したうえで、中・長期計画が策定されています。今後も必要に応じて見直しを行う予定です。

・保育課程は、全職員で会議を開き、子ども一人ひとりの発達過程や状況を踏まえて編成されており、指導計画などは適切に策定しています。

・管理者は常に自己研鑽し、自らの役割と責任において職責を果たしています。職員会議や園内研修にもリーダーシップを発揮し、管理者は職員の相談を受け、保育サービスの質の向上に努めています。法令の周知等、遵守するための具体的な取り組みをされるとなおいでしよう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		B	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	B
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A

[自由記述欄]

- ・人事管理体制には基本的な考えがあり、プランに基づいて実施されています。職員の就業に関する希望はアンケートや面談を通して意思疎通が図られており、適切な人材育成を行っています。
- ・職員の質の向上に向けた基本姿勢が明示されていますが、計画段階から記録に残しておくで見直し等、振り返りの際に充実したものになるでしょう。
- ・職員の出張研修については、参加実績があり「振り返り実践」等の書類で報告、伝達が行われています。さらに職員の個別研修計画があると良いでしょう。
- ・実習生に対しては実習プログラムを作成し、明文化しています。実習の意義や方針を伝達するとなお良いでしょう。
- ・もちつきや、バザーなど地域との交流を年間計画に取り入れ、自治会の行事に参加したりする体制ができています。職員が近隣地域に向いて苦情を含めた意見の聞き取りに柔軟に対応しており、総会の場であらためて保護者に説明をするなど、利用者や地域との関わりを大切にしています。
- ・ボランティアの受け入れ体制を職員に周知し研修を行っていますが、マニュアルが作成されるとなお良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	C	B

[自由記述欄]

- ・ プライバシー保護に関する規程・マニュアルは整備されており、職員に周知しています。今後、マニュアルを定期的に見直し、必要に応じて改善する等の取り組みを計画しています。
- ・ 苦情解決の仕組みは明文化され、園舎内に掲示するとともに、ホームページにも掲載し、職員、利用者等に周知を図っています。
- ・ 利用者からの意見に対応するマニュアルは整備し、速やかに対応しています。
- ・ 第三者評価受診のための自己評価が職員間でなされ、園内研修も実施しています。職員の自己評価は毎月行い、質の向上に向けた取り組みがなされています。
- ・ インターネットでホームページを公開したり、わかりやすいパンフレットを作成しています。見学も随時受け付けており、利用希望者へ必要な情報提供をしています。
- ・ 年度初めに全園児の家庭訪問を実施し、利用者への保育説明を行っています。また健康診断、個人面談、アンケート等を実施して記録、申し送りノートを活用して情報を職員間で共有しています。
- ・ 転園の際の保育の継続性については、書式を整備され、文書化されるとなおい良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

[自由記述欄]

- ・園舎の天井は高く、廊下や室内には採光、風通しも良く開放感のある環境で保育を実施しています。
- ・子どもたちの健康状態に関しては申し送りノートを職員間で共有しています。また、年2回の健康診断や歯科健診も健康記録ノートを用いて保護者に状況を知らせています。
- ・感染症マニュアルが整備され、保護者へはメールで感染状況を配信する設備が整っています。
- ・食事に関しては、食材を表示した献立表が配布され、除去食にも対応しています。
- ・幼児は自由画、粘土、新聞紙遊び等、自主的な遊びができるような環境が作られています。コーナー遊び等を取り入れる際は、子どもの動きや、適切な遊具の分量などについて、さらに検討されると良いでしょう。
- ・登降園時の受け入れ送り出しは、園舎のつくりを上手に利用して、利用者とのコミュニケーションに配慮をしています。
- ・園外保育や幼児のスイミングスクール（週一回）に長年取り組み、子どもたちの心身の健康を育くむ実践をしています。食事の時間にも食材そのものに興味を持てるような取り組みを継続しており、クッキング保育と併せて食育の推進をしています。
- ・支援が必要な子どもへの対応については、開園以来、専門機関との連携があります。職員は研修会に参加するなど障がい児保育の意識が高く、保護者への気配りと配慮もしています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	

[自由記述欄]

- ・乳児、幼児共に連絡帳で保護者との連携を図っています。
- ・家庭訪問や個人懇談会を定期的に行い、また、必要が生じた場合には随時実施しています。
- ・子ども祭りやもちつき大会などの育児支援に保育園全体で取り組み、地域の保育園としての機能を果たしています。
- ・虐待予防マニュアルがあり、早期発見の事例、記録が保存され、専門機関との連携を取ることを周知しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A

[自由記述欄]

- ・厨房、給食室は安全面、衛生面にも整備されています。
- ・園庭の遊具の点検や危険個所の発見など、日頃から「気づき」を大切に改善に努めています。
- ・保育室は子どもの安全を第一に考えた工夫が随所に見られ、家庭的で安心できる環境作りに努めています
- ・玄関はオートロック式で、不審者対応のマニュアルが整っています。
- ・園の入口が混雑する時間帯の交通整理を、亀岡市シルバー人材センターに依頼しており、不審者対策としての効果も期待できません。